

キャラクター名	プレイヤー名
高城 陽介(たかしろうすけ)	

シンドローム	キュマイラ ハヌマーン		ワークス	高校生	カヴァー	高校生
	オプション			年齢	17	性別
覚醒	死	衝動	殺戮		初期侵食率	36%
出自	姉妹	経験	死と再生	邂逅	恩人	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	31
肉体	4	1	0			5	行動値	3
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	3
精神	1	0	0			1	戦闘移動	8
社会	2	0	0			2	全力移動	16

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	5		射撃			RC	2		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	2	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 面影島	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
3	白兵	5r+5		9		攻撃力: +[Lv+8]
2+3+4+8	白兵	9r+5		12		攻撃力: +[Lv+8]+[Lv*2]-[5-Lv] 装甲無視 CL追加すると@7
2+3+4+5+8	白兵	9r+5		12+3d		攻撃力: +[Lv+8]+[Lv*2]+[Lv+2]D-[5-Lv] 装甲無視 CL追加すると@7

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0																																													
携帯電話		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">ロイス</th> </tr> <tr> <th>対象</th> <th>感情(pos)</th> <th>感情(neg)</th> <th>タイ</th> <th>消費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>賢者の石</td> <td>P</td> <td>N</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>紅月 真白</td> <td>P 好意</td> <td>N 不安</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>オモイデ様</td> <td>P 幸福感</td> <td>N 隔意</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>P</td> <td>N</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>P</td> <td>N</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>P</td> <td>N</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>P</td> <td>N</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				ロイス					対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費	賢者の石	P	N			紅月 真白	P 好意	N 不安			オモイデ様	P 幸福感	N 隔意				P	N				P	N				P	N				P	N		
ロイス																																																		
対象	感情(pos)					感情(neg)	タイ	消費																																										
賢者の石	P					N																																												
紅月 真白	P 好意					N 不安																																												
オモイデ様	P 幸福感					N 隔意																																												
	P					N																																												
	P	N																																																
	P	N																																																
	P	N																																																
制服		最大財産P:	8	残り財産P:	4																																													
思い出の一品																																																		
メモリー: 六白 傷無																																																		
メモリー: 六白 神無																																																		
メモリー: キズナ																																																		

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
CL: キュマイラ	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	クリティカル値-LV 下限値7							
完全獣化	2	6	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	【肉体】+[Lv+2]D/素手以外装備不可							
破壊の爪	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	使用したシーンの間、素手のデータを変更。							
獣の力	3	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	エフェクトを組み合わせた白兵攻撃の+[Lv*2]							
神獣撃	1	2	メジャー	武器	単体	対決	80%	
効果:	《完全獣化》中のみ発動。エフェクトを組み合わせた攻撃の攻撃カダイスを+[Lv+2]Dする							
一閃	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	エフェクトを組み合わせた場合、全力移動を行った後に白兵攻撃を行う。戦闘成否にかかわらず移動は必須で、離脱は行えない。							
リミットリリース	1	6	オート	至近	自身	自動	100%	
効果:	判定を行う直前に使用 判定のクリティカル値を-1(下限値5) 1シナリオ1回							
吠え猛る爪	2	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	装甲値無視 攻撃力-[5-Lv](最大0)							
死神の疾風	1	5	イニシアチブ	至近	自身	自動	殺戮 120%	
効果:	行動値+10 攻撃ダメージ+3D 効果はシーン終了か自身が攻撃するまで持続する 他エフェクトと組み合わせ不可 1シナリオLv回制限							
浸透撃	1	2	メジャー	武器	単体	対決	-	
効果:	エフェクトを組み合わせた攻撃に対し、対象はガードを行えない カバーリングを行った場合はガードを行ったものとしてダメージを算出できない 1シナリオLv回制限							
空の楽器	★	-	メジャー	視界	効果参照	自動	-	
効果:	周囲の大気そのものを無数の楽器やスピーカーへと変え、任意の音や音楽を発生させるエフェクト しっかりと記憶しているなら、楽曲を演奏することも、きき取った他人の会話の内容を再生することもできる							
蝙蝠の耳	★	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果:	周囲の音の波をコントロールし、自身の聴覚領域を拡大するエフェクト あらゆる音を聞き分け、10km以上離れた場所で落ちた針の音を聞くことができ、超音波や超低周波、地球の自転の音さえも聞くことができる GMは必要に応じて知覚判定を行わせてもよい							
真偽感知	★	2	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果:	対象の声色から、発言の内容に嘘がないかを見抜くエフェクト このエフェクトによって分かるのはうそをついているかどうかであり、相手がどうい内容の嘘をついているかまではわからない。GMは嘘を見抜く為にRC判定を振らせてもよい							

10年前のあの日、僕を取り巻く世界は変わった。
 死の淵から帰ってきた僕と、病死したらしい幼馴染。
 その事実が、心の中に重くのしかかっている。

10年前に幼馴染の少女と共にジャームに襲われ、近隣のUGN支部関係者の尽力もあり一命を取り留めた少年。
 少し特殊な力を秘めたオーヴァードとして覚醒した彼は、関係者達の説得を受け入れずに最低限の力の制御方法のみを学び、一線から遠ざかる道を選ぶ。
 それ以降は、一般人として過ごすように努める傍らで多くの特技を身につけようと色々なことに意欲的に取り組む日々を送る。
 あの日感じた無力感を埋める為か、それとも過去を忘れる為か。真意はどうあれ、ただ何かに打ち込むことを必要としていた。
 そうして得た力と代え難い経験を経て、誰かを笑顔に出来るような人間でありたいと思うようになり現在に至る。

Birdcage クリア

両親の都合で引越した小さな島で出会ったのは、幼馴染の面影を感じる少女だった。
 そんな少女の居る日常に若干の困惑と懐旧を覚えつつ日々を送る。そんな中、同時期に転校してきたUGN関係者と協力する形で島内で起こる奇妙な事象にかかわっていくことになる。

真相を探る中で、もう一人再会した人物。予想外の邂逅。島にまつわる秘密の存在。そして関与への警告。
 その邂逅を経て、真相を明らかにするために自らの力と向き合う決意を固めるのであった。